


ねこはしる

ものがたり 



雪国の 山あいの小さな村
内気でのろまな 黒ねこのランは
一人ぼっちの池の魚と 友だちになりました

春から夏へ 夏から秋へ
めくるめく季節を 魚とすごし
ランは 黒くつやつやの 若者になりました

ところが 他のねこたちが 魚を見つけ
満月の夜「魚とり競争」が行われることに

げきのかんそう

- やさしさがつたわってきました。(小1)
- ねことさかながともだちになったときとてもしあわせでした。(小1)
- コイとわたぐもになれてうれしかった。(小2)
- スリングラフィ、今度作ってみたいです。(小3)
- 3人なのいろいろなやくをやっていて感動しました。(小4)
- 「げきってこんなに楽しいのか！」と思いました。(小5)
- ぼくもランのように、うまくいかないことがあっても、
何度も何度もやってみようと思いました。(小6)
- シンプルな舞台なのに、季節の移り変わりや物語など景色が
見えてくるようだった。(中3)
- 「生きる力」をはぐむために、ぜひ多くの子もたちに
この作品に触れてもらいたい。(おとな)



スリングラフィとは…?

作曲家 水嶋一江さんが考案した楽器です。
絹糸と紙コップを使い、糸電話の原理を応用して
作ります。メロディや和音の他に、風の音など
たくさんのイメージ音も奏できます。

劇評 (げきひょう)

3人の俳優は何役も兼ね、走り回り、楽器を使い、
語りを受け持ちます。その軽快な動きがいい。
和服の紗(しゃ)の生地のような織物を使った舞台美術。
とりわけ、ひなびた音色のオカリナ、紙コップを絹糸に
通した楽器スリングラフィの響きがユニークです。
身体による疾走感、音楽的な言葉の詩、西洋楽器にない
音の階調が新しい試みを実のあるものにしていました。

演劇評論家 岩波 剛
(総合演劇雑誌テアトロ 2002年3月)

スタッフ

原作 / 工藤直子 構成・演出 / 西田豊子
音楽 / 佐藤容子 振付 / 神崎由布子 美術 / 西山三郎
スリングラフィ指導・協力 / 水嶋一江、スタジオ・イヴ
総合プロデューサー / 下山 久

特定非営利活動法人アートイン Asibina (あしびなー)
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-14-17 アルテール新宿 1110
TEL : 03-5338-7929 / FAX : 03-5338-7928
E-mail : info@asibina.com / HP : www.asibina.com